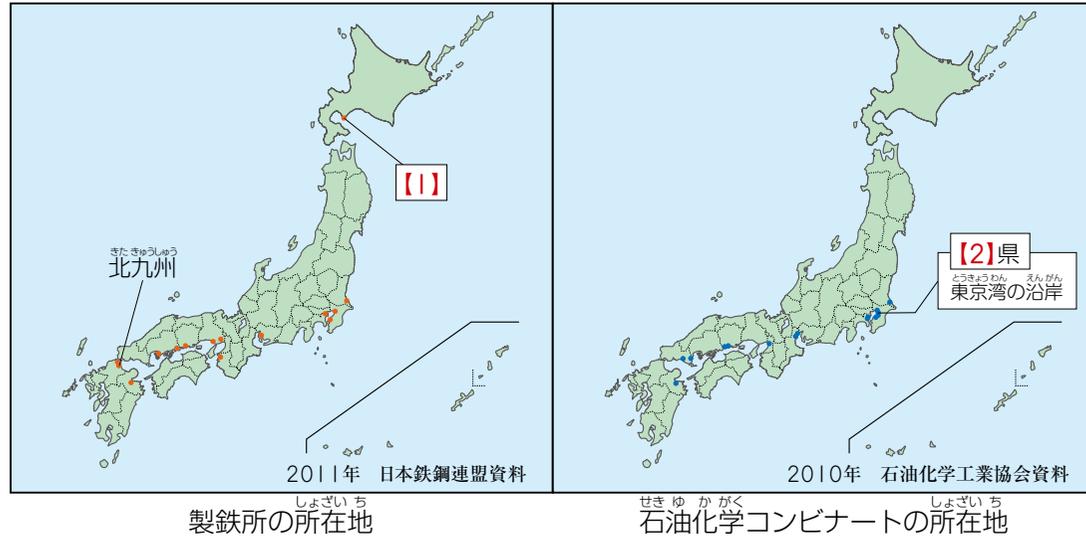




工業の種類によって、製品を生産する工場などの分布にちがいが見られます。製鉄所（鉄鋼工場）や石油化学コンビナートなどの分布を見ながら、それぞれの産業がさかんな地域を確認していきましょう。



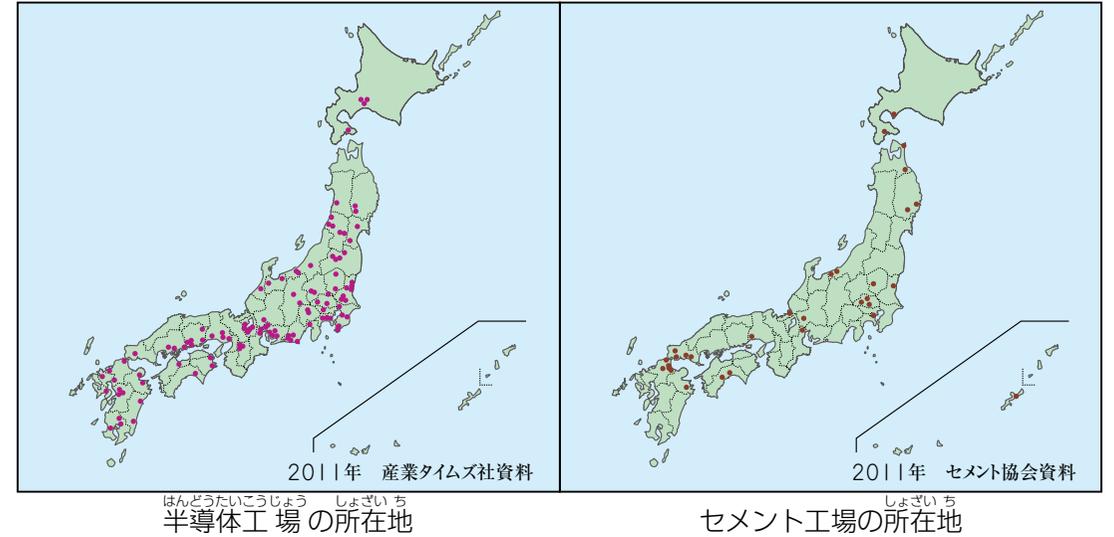
製鉄に必要な鉄鉱石や石炭を大量に船で海外から輸入し、重くて大きい鉄製品を主に船で輸送するため、大きな高炉のある製鉄所は太平洋ベルトの沿岸部に集中しています。鉄鋼業は愛知県・兵庫県・[2] 県などでさかんですが、太平洋ベルトからはなれた [1] 市（北海道）にも製鉄所は位置しています。また、北九州市（福岡県）には、明治時代に操業を開始し、日本の重化学工業の近代化に大きな役割を果たした官営の八幡製鉄所の流れをくむ製鉄所があります。

石油精製工場や石油化学工場などが集中する石油化学コンビナートは、原料となる石油を船で輸入するため、製鉄所と同様、太平洋ベルトの沿岸部に集中しています。東京湾に面した [2] 県や神奈川県に多いなど、所在地の傾向が製鉄所とやや似ていますが、鉄鋼業がさかんな愛知県や兵庫県には石油化学コンビ



ナートは立地していない、といった特徴があります。

自動車工場も太平洋ベルトに集中していますが、沿岸部だけではなく、内陸部にも数多くの工場が立地しています。日本で自動車生産が最もさかんな都市である [3] 市（愛知県）は、海に面していません。また、関東地方の内陸県である埼玉県や [4] 県でも、自動車生産がさかんです。



IC（集積回路）などの半導体製品を生産する工場を半導体工場といいます。半導体工場は太平洋ベルトだけでなく、九州地方や東北地方など、広く全国に数多く立地しています。小型・軽量で高価という製品の特性上、トラックや飛行機での輸送に便利な [5] 沿いや空港の近くに多くの工場があります。

セメント工場は主原料となる石灰石の産地の近くに集中しているのが特徴で、埼玉県・[6] 県・福岡県に数多く立地しています。

**ポイント** 分布傾向のちがいに注目しよう！

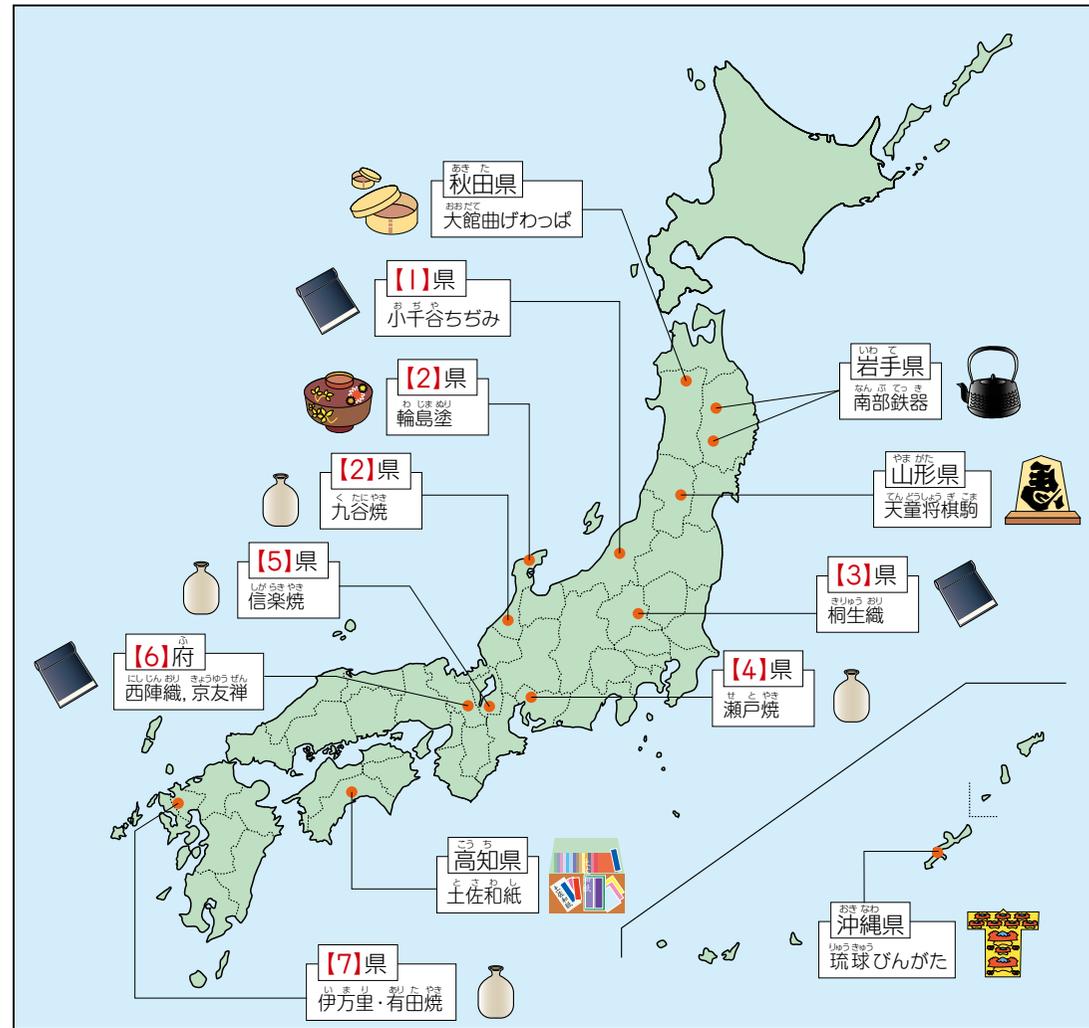
- 製鉄所…太平洋ベルトの沿岸部に集中
- 石油化学コンビナート…太平洋ベルトの沿岸部に集中
- 自動車工場…沿岸部だけでなく内陸部にも立地
- 半導体工場…広く全国に分布
- セメント工場…石灰石の産地の近くに集中

**入試ではここが問われる！**

- 工場などの分布を示した日本地図が示され、何の分布を示した地図かが問われます。

伝統工業と特色ある工業

近代以前から伝わってきた、すぐれた技術から生み出される手作りの製品を伝統的工艺品といい、材料や制作方法に地域の特色が見られます。また、伝統的工艺品をつくる工業を伝統工業といいます。この地域的特色を見ていきましょう。



主な伝統的工艺品

関連 ➡ 42 ページ 製鉄所の所在地

関連 ➡ 42 ページ 自動車工場の所在地

経済産業省によって、全国で200以上の品が、伝統的工艺品として指定されています。種類別に見ると、主なものに、陶磁器・漆器・織物・染色品などがあります。陶磁器は、土や石を原料とし、かまで焼き上げる器のことで、漆器は、おわん・おぼんの木地に、うるしを何度もぬった器です。織物は糸を織機にかけて織った布のことで、染色品は布を染めて色をつけたもののことで、

主な伝統的工艺品の種類、産地と品名

種類	産地と品名
陶磁器	九谷焼 ([2] 県), 瀬戸焼 ([4] 県), 信楽焼 ([5] 県), 伊万里・有田焼 ([7] 県)
漆器	輪島塗 ([2] 県)
織物	桐生織 ([3] 県), 小千谷ちぢみ ([1] 県), 西陣織 ([6] 府)
染色品	京友禅 ([6] 府)

近代以降生まれた工業にも、特定の地域に根ざしたのがあります。特定の地域に根ざした工業のことを、伝統工業もふくめて、地場産業と呼びます。この地域といえばこの製品といえるような特色のある製品を覚えておきましょう。



特色ある工業製品

ポイント 主な伝統的工艺品と産地について覚えよう!

- 陶磁器…九谷焼 (石川県), 伊万里・有田焼 (佐賀県)
- 漆器…輪島塗 (石川県)
- 織物…西陣織 (京都府)

入試ではここが問われる!

- 日本地図に伝統的工艺品の産地が示され、それについて述べた文を組み合わせる問題が出されます。
- 地場産業の統計 (都道府県別生産割合) が示され、その地場産業の行われる地域を地図から選ぶ問題が出されます。